

二小の風

学校通信



平成30年4月19日
4月号 天理市立二階堂小学校
文責 北野 博康
<http://academic1.plala.or.jp/nisyo/>

平成30年度が始まりました



約2週間の春休みも終わり、4月6日(金)の始業式で平成30年度がスタートしました。また10日(火)の入学式では48名の新入生を迎えました。

お子様のご入学・ご進級おめでとうございます。

平成30年度は、少し人数が増え全校児童277名でスタートしました。今年度も、二階堂小学校の校長を務めることとなりました北野博康です。どうぞよろしくお願いいたします。



始業式の日、子どもたちは、クラス替えをワクワクドキドキした気持ちで迎えたと思いますが、新しい担任の下、それぞれの学級で工夫した学級開きが行われました。新しい環境で緊張気味だった子どもたちも、だんだん緊張がほぐれ、笑顔であいさつを交わしたり、一緒に遊んだりすることができてきました。

さて、昨年度新学習指導要領が告示されました。平成32年度からの完全実施に向け、いよいよ今年度からは、移行期間に入ります。それに伴い、教育内容にいくつか変更があります。

道徳が教科化となり、外国語活動が3、4年生にも入ってきます。私達教職員も研修を重ねながら、新年度の準備を進めてきました。どうぞ今年度も本校教育にご理解、ご支援くださいますようよろしくお願いいたします。

今年度も、この学校通信『二小の風』を通して、学校としての考えや子どもたちの様子などを伝えていきたいと考えています。

ご家庭の皆様へのお願い

○「早寝・早起き・朝ご飯」

脳や体の成長ホルモンが分泌されるのが、夜の11時頃からだそうです。つまり、それまでに眠っていないといけません。また、活動に必要なエネルギーを摂るための朝ご飯を食べるには、早起きが必要です。朝食をとらずに登校している子は、元気がありません。また、必要な糖分が不足すると脳の働きにも影響が出ます。家庭事情もあるかと思いますが、子ども中心の生活リズムをつくってあげてください。



○家庭学習の習慣づける

学校で学んだことを定着させるのが家庭学習です。また、学んだことを活かしてみるのも家庭学習です。決まった場所で、決まった時間になったら、学習に向かう習慣を作ってください。

○できたことを認める

がんばってできたこと、だれかのためにがんばったことは、認めてあげてください。その経験が自尊心を育てます。

教職員の離着任について

◇転任者

堀内 泉 先生・香芝市立旭ヶ丘小学校へ
挽地 夕 姫 先生・奈良教育大学附属中学校へ

◇着任者

関 奈津子 先生・奈良市立平城西小学校より
岡田 満加 先生・天理市立櫛本小学校より
轟本 敦子 先生・天理市立井戸堂小学校より
永戸 雅樹 先生・新規採用
廣嶋 公子 先生・新規採用(特別支援員)

離任者の在任中は、保護者・地域の皆様は大変お世話になり、ありがとうございました。着任者につきましてもよろしくお願いいたします。

「きく」と「きく」を大切に！ 学び合う学校を目指して

【全校朝会のお話から】

二つの「きく」を大切にしてほしいというお話をしました。

一つ目の「きく」は、わからないことやこまったことをと近の子に「訊く(きく)」=たずねるということです。そこから学習がスタートするのです。

二つ目の「きく」は、困っている子の話をしっかり「聴く」。説明してくれている子の話をしっかり「聴く」ということです。「聴」という漢字を分解すると、耳+目と心になります。話し手の方を向き、相手の立場にたって聴いて考えるということです。

わからないことを教えてもらった子は、得をします。そして、もっと得をするのが一緒に考えて教えてくれる子です。先生の話は黙って聞いているだけでは、学習内容の定着は30%だと言われています。しかし、人に説明することで、その定着は90%と高くなるそうです。

一人の頭脳は限られています。ペアやグループで互いの考えを出し合うことで考えが深まります。

授業中の独りぼっちをつくらず、誰もが得をする学び合いなのですが、そこには、安心して「わからない」や「教えて」が言える関係づくりが必要です。

本校では、そんな関係づくりを大切にしたいと学級づくり、ペアやグループを大切にしたいと授業改善に取り組んでいきたいと考えています。

参観や懇談を通して、ご意見をください。



